

2024年度第9回西日本放送番組審議会

開催年月日 2025年1月21日(火) 14:00～16:00
開催場所 西日本放送岡山本社 3階会議室
委員の出欠 委員総数 8名
出席委員数 5名

出席委員の氏名

西	原	義	一	委員長
森	下	聖	史	委員
岡	田	佳	子	委員
三	好	千	尋	委員
大	林	伸	二	委員

欠席委員の氏名

佃		昌	道	委員
古	市	聖	一郎	委員
多	田	和	仁	委員

社側の出席者

中	村	卓	朗	(代表取締役社長)
竹	内	陽	一郎	(取締役営業統括 業務推進局長)
和	家		剛	(報道制作局長兼報道業務部長)
久	保	和	照	(岡山本社中国総支社長兼営業部長 兼倉敷支社長)
吉	田		剛	(香川報道制作部長)
中	桐	康	介	(報道業務部兼報道制作部)

事務局

田	中	克	士	(編成業務部長兼放送審議室長)
香	川	豊	宏	(編成業務部兼放送審議室)

2024年度第9回番組審議会議事次第

開催日 2025年1月21日（火）14:00～16:00

場 所 西日本放送岡山本社 3階会議室

〔議 事〕

議事進行 西原義一委員長

社側挨拶 代表取締役社長 中村卓朗

1. 議 題 テレビ番組
『 ド根性の金メダル
レスリング日下尚の挑戦 』

2. 質疑応答

〔参考資料〕

- 社報 No. 485
- 2024年度第6回番組審議会議事録
- タイムテーブル 冬号
- 視聴者対応 11月
- BPO報告 No.271

〔次回開催予定〕

開催日 2025年3月4日（火）14:00～16:00

場 所 西日本放送高松本社 5階役員会議室

TEL 087-826-7241

議 題 『 シアワセ気分！ 』

放送日 2025年2月15日（土）9:25～10:25

制 作 RNC西日本放送テレビ

以 上

【議事概要】

今回は、テレビ番組『ド根性の金メダル レスリング日下尚の挑戦』を視聴していただきました。委員からは、彼の「尚」という名前はマラソンの高橋尚子さんから取ったと言われているが、彼自身も、高橋尚子さんがシドニーのオリンピックで金メダルを取ったときに言った「すごく楽しい42キロでした」を、たぶん意識して、「最高に楽しい6分間でした」と言ったのだと思う。番組の最後のほうにアルバムを見ているシーンがあったが、あのときに彼の名前の由来に触れてくれているのなら、彼のあの言葉がしっくり受け止めてもらえたのではないかという気がした。

番組全体の展開にストーリー性があり、幼少期から始まって小中高大学と続き、その都度地域の人たちの応援やうどん県ならではの良さなどが伝わってきた。ド根性、金メダリスト等々、とてもいいストーリーだったように思う。また、周囲の人たちの言葉を上手く引き出しており、なかでも「努力が才能を超えた」という言葉はズシンときた。

試合の場面ですが、6分間という時間が短くも長くも感じたのはやはり番組の制作の仕方なんだろうと思ったし、たぶん作り方が良かったからだと思う。吉田さんとの対談は番組をさらに充実させていた感じで面白く見ることができた。また、とても興味深い話が盛沢山で楽しく聞けた。新たな1年が始まろうとする年末にこの番組が放送されたことも、次にまた頑張ろうと思えるのではないかと感じた。

全体的には皆さんと同じ感想でとても良かったと思う。冒頭、幼い頃のシーンから始まり、本当に心が乗ってきて、応援したい気持ちになったところでやっと高校生だったが、それからオリンピックと、丁寧に試合を放送してくれたので、知らなかったレスリングのルールがよくわかって、ああこういうことなんだと腑に落ちた。

構成が非常に素晴らしいと思った。日下さんの人柄がよくわかる番組でしたし、生い立ちから現在まで、若い人なのにこれまで歩んできた道程をととてもよく表現していると思う。との意見がありました。

制作者からは、私自身、日下選手の人柄にととても惹かれました。西原委員長から人柄の良さから取材を始めたのではないかというお話がありましたが、まさにその通りです。本当の彼は優しくてどこか気弱なところのある人だったので、そのあたりを伝えられたらというのが一番の番組の意図でした。それから、もう1つ、今回の番組でやりたいと思ったのがレスリングという競技をきちんと伝えることです。私自身、日下選手と出会うまではレスリングについては何も知らなかったのですが、競技の面白さや醍醐味などを皆さんに感じてもらえたらと思いました。そのため、レスリングの試合展開をどのくらいの時間を使って表現するか随分悩みました。でも、皆さんがその面白さを感じていただけたのなら、私としてはとてもうれしい限りです。との回答がありました。